ビジネスEXPO「第38回　北海道技術・ビジネス交流会」
＜開催結果の概要＞

北海道 技術・ビジネス交流会 実行委員会

Ⅰ．開催結果

「北海道 技術・ビジネス交流会（ビジネスEXPO）」は、1987年の第1回開催以降、道内のみならず全国に北海道の“強みと可能性”について情報発信してまいりました。

第38回ビジネスEXPOにつきましては、**“創造的破壊”を北海道から ～ GX／DX／SXで革新的イノベーションを ～** をテーマに開催いたしました。

308社・機関が出展し、「ITビジネス」「ものづくり・電気・機械ビジネス」「地域創造ビジネス」「環境・バイオビジネス」「学術・試験研究機関」、「先端技術」「未来創造」の7つのゾーンにて、各企業・機関の新製品や、時流に沿った新技術、研究開発製品等が展示され、2日間で**合計21，261名**の方々にご来場いただき、盛況のうちに終了することが出来ました。

長い歴史を誇る本イベントを今年度も無事途切れさせることなく開催出来ましたのは、ひとえに関係各位のご協力の賜と、主催者一同心より御礼を申し上げます。

Ⅱ．開催要項

名　称／ビジネスEXPO「第38回 北海道 技術・ビジネス交流会」
テーマ／“創造的破壊”を北海道から～GX／DX／SXで革新的イノベーションを～
会　期／2024年11月7日（木）～8日（金）＜2日間＞
◆7日（木）　10：00～17：30（開会式9：30～）
◆8日（金）　9：30～17：00
会　場／アクセスサッポロ（札幌流通総合会館）　札幌市白石区流通センター4丁目3番55号
目標入場者数／20，000名
入場料／無料（来場事前登録制）
主　催／北海道 技術・ビジネス交流会　実行委員会
【構成】
経済産業省北海道経済産業局、北海道、札幌市、北海道経済連合会、一般社団法人北海道商工会議所連合会、
北海道商工会連合会、公益財団法人北海道中小企業総合支援センター、一般社団法人北海道機械工業会、
札幌商工会議所、一般社団法人北海道中小企業家同友会、
公益財団法人北海道科学技術総合振興センター（ノーステック財団）
協　賛／エア・ウォーター㈱、㈱エコニクス、SMBC日興証券㈱札幌支店、㈱神戸製鋼所北海道支店、電制コムテック㈱、
㈱東芝北海道支社、トヨタ自動車北海道㈱、日本管財㈱北海道支店、㈱日本政策投資銀行北海道支店、
㈱日立製作所北海道支社、BIPROGY㈱北海道支店、富士通㈱、富士電機㈱北海道支社、
富士フイルムビジネスイノベーションジャパン㈱北海道支社、北電興業㈱、ほくでんサービス㈱、ほくでん情報テクノロジー㈱、
㈱北洋銀行、㈱北海電工、北海道ガス㈱、㈱北海道銀行、北海道クリエイティブ㈱、北海道総合通信網㈱、
一般財団法人北海道電気保安協会、北海道電力㈱、北海道パワーエンジニアリング㈱、三井物産㈱北海道支社、
三菱重工業㈱北海道支社、三菱商事㈱北海道支社、三菱電機㈱北海道支社
後　援／国立研究開発法人産業技術総合研究所、北海道教育委員会、旭川市、小樽市、帯広市、北見市、釧路市、
苫小牧市、函館市、室蘭市、一般財団法人札幌産業流通振興協会、
国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構、（独）中小企業基盤整備機構北海道本部、
一般社団法人日本航空宇宙学会北部支部、公益社団法人日本青年会議所北海道地区協議会、
(独)日本貿易振興機構北海道貿易情報センター、一般社団法人北海道IT推進協会、
北海道技術振興連絡協議会、北海道経済同友会、一般社団法人北海道建設業協会、北海道市長会、
北海道地域産業技術連携推進会議、公益財団法人はまなす財団、北海道町村会、
一般社団法人北海道農業機械工業会、一般社団法人北海道貿易物産振興会、北海道中小企業団体中央会、
電気新聞北海道支局、日刊工業新聞社札幌支局、日本経済新聞社札幌支社、北海道新聞社、
NHK札幌放送局、HBC北海道放送、STV札幌テレビ放送、HTB北海道テレビ、UHB北海道文化放送、TVh

構　成／【展示会】

・総合展示会

・同時開催（7事業）

『令和6年度「北海道新技術・新製品開発賞」受賞企業展』

『令和6年度「北海道省エネルギー・新エネルギー促進大賞」受賞企業展』

『資源リサイクルフォーラム2024』　『札幌商工会議所ものづくりコーナー』

『北のITシーズフェア2024』　『スマートエネルギーフォーラム2024』

『FOOD FACTORY2024～食×ロボット機械の創造領域～』

Ⅲ. ビジネスセミナー

ビジネスセミナープログラム ｜ 2階レセプションホール〔各テーマ定員150名〕　参加無料　事前登録制

＊講演・セミナーは、当日のお申込みも受付ております。　＊事前申込みにより定員を超えた場合はご容赦願います。　＊当日お申込みを希望される方は、2Fレセプションホールまでお越し下さい。

1日目 11月7日（木）

基調講演／10:50～11:50

世界に挑め！ ～次世代半導体はMade in北海道～

〔講師〕小池 淳義 氏　Rapidus㈱ 代表取締役社長

昨年に引き続き、小池社長が登壇！

世界と協力し、日本の開発・モノづくり力を結集して、世界最先端のロジック半導体の開発、製造を目指すラピダス。

次世代半導体製造拠点の立地を契機とした経済効果や関連産業の集積が期待される中、世界中が注目する工場建設の進捗状況や、北海道はどう変わるかなど、今聞きたい最新情報をお話しいただきます。

北海道ものづくりセミナー／13:00～14:00

「北海道新技術・新製品開発賞」受賞企業発表会

【参加企業】●㈱グラッド　●㈱けんぶらVIVAマルシェ　●㈱ネクステラス　●こぶし建設㈱　●面盤どうく㈱

スタートアップ セミナー／14:30～17:00

【第1部】14:30～15:25
生成AI時代におけるスタートアップ企業の重要性

〔講師〕岡田 陽介 氏　㈱ABEJA 代表取締役CEO

ChatGPTのプロトタイプが公開されてから、まだ2年も経っていません。OpenAIが突如出現し、大企業が研究開発に相当なリソースを費やしてきた自然言語処理という分野でブレークスルーを引き起こしました。今、テクノロジースタートアップ企業を立ち上げようとする起業家達にとっては、大きなチャンスです。この激動のタイミングにおいて、実際に会社を創っていくことについて、解像度高くお話しいただきます。

〔略歴〕2012年9月、株式会社ABEJAを起業。2017年、一般社団法人日本ディープラーニング協会（JDLA）理事。経済産業省・総務省・IPA主導の政府有識者委員会にて委員を多数歴任。

【第2部】15:30～17:00／パネルディスカッション
北海道スタートアップ 今後の展望

「道内大学発スタートアップ企業」とARFJA岡田氏によるパネルディスカッションを開催！　スタートアップの創出・成長に向け、戦略・支援・パッションなど熱く

〔登壇者〕

岡田 陽介 氏　㈱ABEJA 代表取締役CEO

櫻井 恵介 氏　Letara㈱ 取締役CFO

地球を超えて、より早く、より遠くへ！
宇宙空間での安全な輸送に向けた「ハイブリッド化学推進

北出 宗治 氏　AWL㈱ 代表取締役社長兼CEO

More than your eyes can see 目を超える視界を
最先端エッジAI映像解析技術で実装実績No.1、リテール業界

天野 麻穂 氏　HILO㈱ 代表取締役

治療薬の効果を患者ごとに可視化！
北大医学研究院の「蛍光バイオイメージング技術」を用い、診断薬の開発を目指す。

〔ファシリテーター〕吉田 聡子 氏
（北海道クリエイティブ㈱ 代表取締役社長）

2日目 11月8日（金）

データセンター セミナー／10:30～12:10

【第1部】10:30～11:15
GX・カーボンニュートラル・DXを同時実現するAIデータセンターへの挑戦

〔講師〕江崎 浩 氏
東京大学大学院情報理工学系研究科教授・北海道顧問

情報通信工学の第一人者で、国のエネルギー政策の有識者である江崎氏に、北海道でのAIデータセンターの可能

【第2部】11:15～12:10／パネルディスカッション
道内データセンターを成長基盤とした、AIサービスの創出・展開

第1部講師 江崎氏と各界で活躍中の4名によるパネルディスカッションを開催。

〔登壇者〕

淺沼 邦光 氏　ソフトバンク㈱次世代社会インフラ事業推進室 室長

柳川 直隆 氏　㈱Flower Communications 代表取締役

合同会社石狩再エネデータセンター第1号

土井 裕介 氏　㈱Preferred Networks 計算基盤担当VP

AIに関し、アプリケーションから半導体まで垂直統合型の開発を行うプリファードネットワークスにおける計算基盤事業の責任者

〔ファシリテーター〕山本 強 氏　北海道大学名誉教授

金融セミナー／13:00～14:40

【第1部】13:00～14:00
不安定なマーケット ～激論 米国大統領選挙後はどこに向うか～

「モーサテ」「日経CNBC」等で注目のお二人が登壇し、11/5米国大統領選挙後のマーケット「株式」「為替・金利」について、最新予想を発表いたします。

〔講師〕大川 智宏 氏
㈱創・OskarグループCEO兼 主席ストラテジスト

昨年当イベントやモーサテ等で2024年北海道主要企業の株価暴騰を予見した、金融界の鬼才が再度登壇

〔講師〕尾河 眞樹 氏
ソニーフィナンシャルグループ㈱ 執行役員チーフアナリスト

ソニー銀行㈱・ウェルスナビ㈱ 取締役も兼務し、為替分野で大活躍する著名アナリストが登壇

【第2部】14:00～14:40／トークセッション
激論 対談：どうなる!? 金融市場

不安定さを増すマーケットの行方を、お二人に徹底討論していただきます。

北海道応援セミナー／15:00～16:00

「地域から日本を変えられる」～地方経済のこれから～

〔講師〕石山 アンジュ 氏
一般社団法人シェアリングエコノミー協会　代表理事/シンクタンクPublic Meets Innovation代表理事

"地域"が注目される現在、新しい地方創生ビジネスモデルをつくることが、日本の繁栄につながるのではないだろうか。ミレニアル世代のシンクタンク代表理事の石山氏に、シェアリングエコノミー(共感経済・共有経済)により「地域から日本を変える方法」と、北海道への期待を語っていただきます。

〔略歴〕社会起業家。政府と民間のパイプ役として規制緩和や政策推進にも従事。世界経済フォーラム(Global Future Council Japanメンバー)、LISEN-NEXT HOLDINGS 社外取締役。「羽鳥慎一モーニングショー」、「真相報道バンキシャ!」等に出演。Forbes JAPAN「日本のルールメイカー30人」に選出。

Ⅳ. 2024年の取組み

①食×ものづくりマッチング　FOOD FACTORY 2024 ～食×ロボット・機械の創造領域～

道内ものづくり企業が提供するロボット・IoTシステムなど、省力化やDX促進に繋がる最先端機器を紹介しました。

出展企業

㈱アイエムパック、㈱安西製作所、㈱京和エンジニアリング、桑原電工㈱、新栄クリエイト㈱、
太平電気㈱、㈱ニッコー、北海道イシダ㈱、㈱モリタ、㈱ロボットシステムズ

②学生向け企業説明会の開催

道内企業への就職活動支援のため、大学生・高専生を対象に学生向け企業説明会を実施しました。
また、その他、道内の工業高校・高専・大学生を含めた約1,200名をご招待し、開催しました。

③未来創造ゾーン

半導体産業の紹介や、SDGsの達成や脱炭素社会の実現など、未来に向けた技術・製品・サービスを紹介しました。

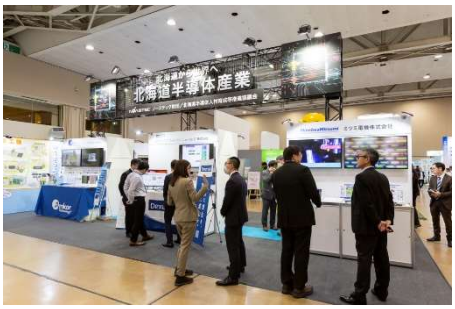
出展内容

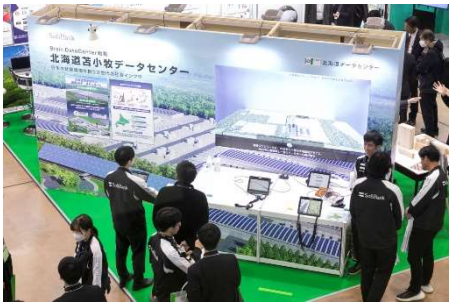
- ●北海道から世界へ！　注目の半導体企業
- ●北海道への期待が高まる最新データセンター
- ●世界が注目する宇宙都市へ！　北海道の宇宙産業
- ●革新的な技術で新たな価値を生み出す 北海道発スタートアップ企業
- ●カーボンニュートラル実現に向けた製品&取り組みの紹介
- ●産学官金の連携によるGXの推進及び金融機能の集積への取り組み
- ●北海道の課題を解決:環境・暮らしを守る新技術 ほか

北海道の未来に向けた技術や製品・サービス取扱企業様が**39社（団体）**出展しました！

出展企業

アイチテクノメタルフカウミ㈱、AWL㈱、㈱アムコー・テクノロジー・ジャパン、石狩再エネデータセンター第1号、カサシマ建設㈱、㈱カネカ、㈱カネカ北海道、札幌市、㈱SUMCO、GBnode㈱、㈱ZYRQ、SPACE COTAN㈱、ゼロカーボン北海道、㈱ゼンリン、ソフトバンク㈱、大樹町、Team Sapporo- Hokkaido、㈱調和技研、デクセリアルズ フォトニクス ソリューションズ㈱、㈱ドリームベース、ネットドア㈱、長瀬産業㈱、ノーステック財団、HILO㈱、フィンランド・スエコ、ほくでん情報テクノロジー㈱、北海道、NPO法人北海道宇宙科学技術創成センター、北海道経済連合会、北海道総合通信網㈱、北海道中小企業家同友会、ミツミ電機㈱、メイビスデザイン㈱、㈱宮田自動車商会、㈱未来シェア、㈱メカノクロス、Rapidus㈱、Letara㈱、㈱ワールド山内





Ⅴ. 会期中の実績

1. 出展規模

	企　業		大学・試験研究機関	合　計
	道内	道外		
出展者数（社・機関）	208	75	25	308 社・機関
出展小間数	274		20	294 小間

2. 入場者数

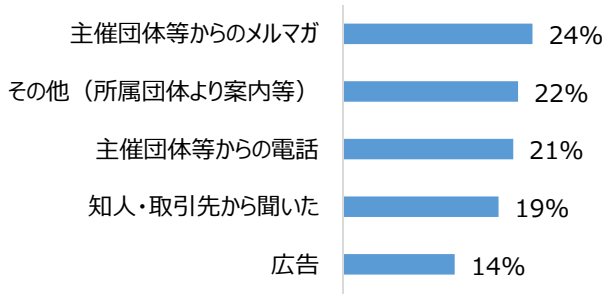
月　日	来場者数（名）
11月　7日（木）	9，909 名
11月　8日（金）	11，352 名
合　計	**21，261 名**

3. 商談件数 （※アンケート回答結果による）

内　容	件　数
一般的な相談・商談数	7，171件
契約確定・見込数	1，187件
合　計	**8，358件**

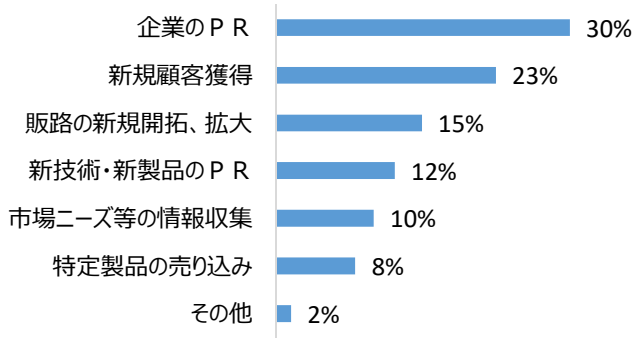
Ⅵ. 出展者アンケート結果

■ 出展のきっかけ



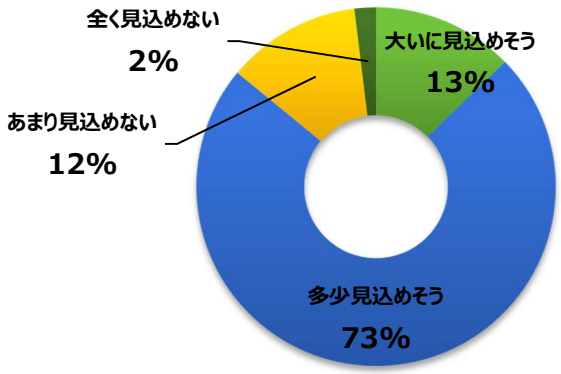
幅広い出展募集の告知により興味・関心を持って出展いただいたことがわかりました。

■ 出展の目的



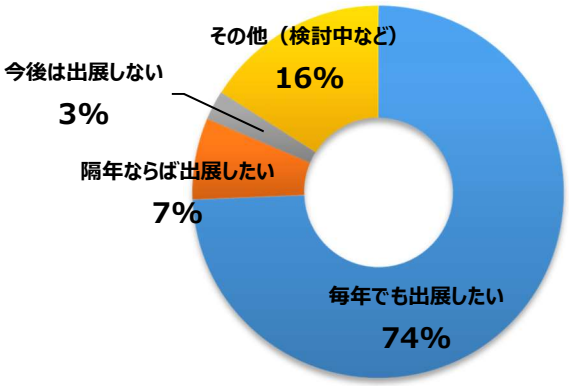
企業のPRのために出展した企業が多かったようです。

■ 出展による新たなビジネス（新規顧客獲得・共同研究・新製品開発等）の創出



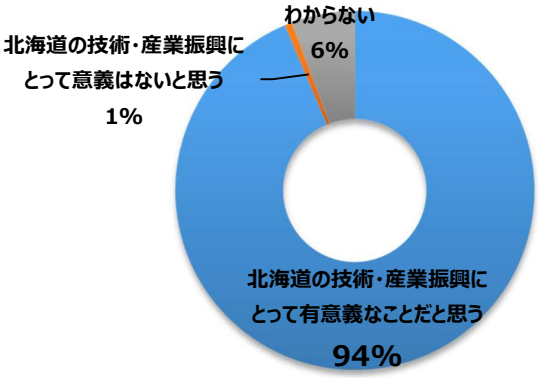
新たなビジネスの創出が“大いに見込めそう”または“多少見込めそう”と感じた企業は86%となっています。

■ 今後の出展意向



毎年または隔年ならば出展したいと感じた企業は全体の81%となっています。

■ イベントの企画・開催について



“北海道の技術・産業振興にとって有意義なこと”と93%の方が評価しています。

出展者様からのご意見・ご要望（※一部抜粋）

＜良かった点＞

- 新規協力業者（出展社）との面識ができた。
- 多種多様な企業・職種の方々が参加されていること。多くの学生を招待していること。
- 若手エンジニア（高校生）の参加は人材育成の観点から考えると非常に良いと思います。
- 企業の規模に関わらず、商談やBtoBの新規取引先獲得の機会を得られること。
- 学生方や他業種の方と幅広い交流をもてました。
- ゾーンニングが分かりやすかった。
- 集客力があり、閑散としている時間があまりなかった。
- お客様の新規開拓が見込めた。
- 単に企業同士のマッチングだけでなく、高校生や専門学校生等、次世代の北海道を担う方々の来場が増えている印象を受け、非常に心強かった。
- 北海道で2万人を超える来場数の展示会は他にない点。
- 本州資本の大手だけでなく、中小地場企業の出展があった。
- 今まで接点のない北海道地区の見込みユーザー様へ宣伝ができた。
- 様々な業界から企業が出展されていて色んな課題解決に繋げられそうなイメージがありました。

＜悪かった点＞

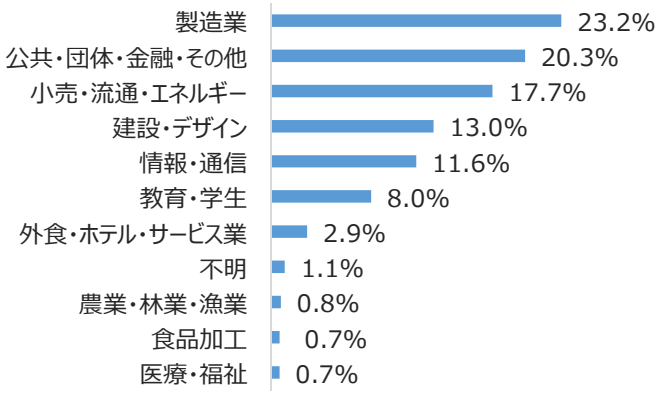
- 来場者の業種の文字が少し小さい。
- 飲食・休憩場所の混み具合が予想より多かった。
- 飲食・休憩エリア、キッチンカーなどが少ない。
- 屋外展示場の悪天候時において来場者が立ち寄りにくいところ。

＜改　善　点＞

- 来場者ネームプレートの企業名をもっと大きくしてほしい。
- ブース位置確定時期や、各種期日にもう少し余裕をもたせていただきたいです。
- キッチンカーがある程度来ていたが、そのような食に関するスペースを屋内屋外に設けて休憩スペースを兼ねるのはどうか？
- 場内出展者も、開会セレモニーの様子を知ることができるように、場内への音声中継などを行ってほしい。
- 申込枠があっという間に埋まってしまった。来年の出展枠を確保できるかが心配です。

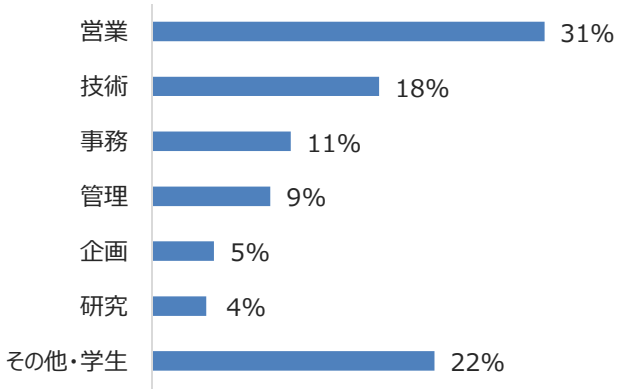
Ⅶ. 来場者アンケート結果

■ 業種



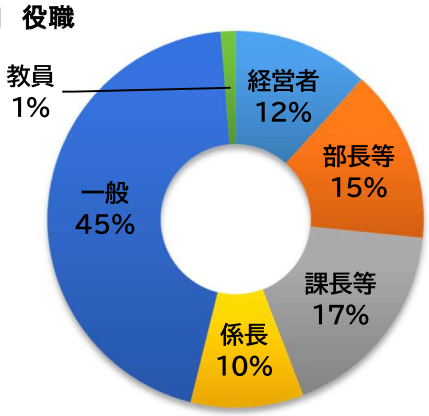
総合展示会らしく多業種の来場がありました。

■ 職種



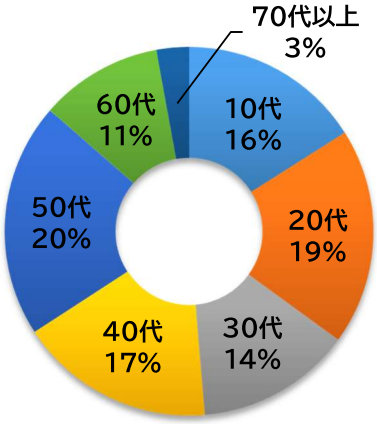
営業職の方の来場が全体の約30%となっています。

■ 役職



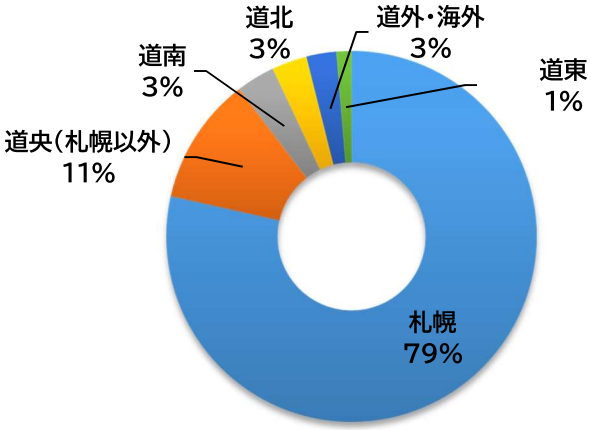
様々な役職の方にご来場いただいております。

■ 年齢



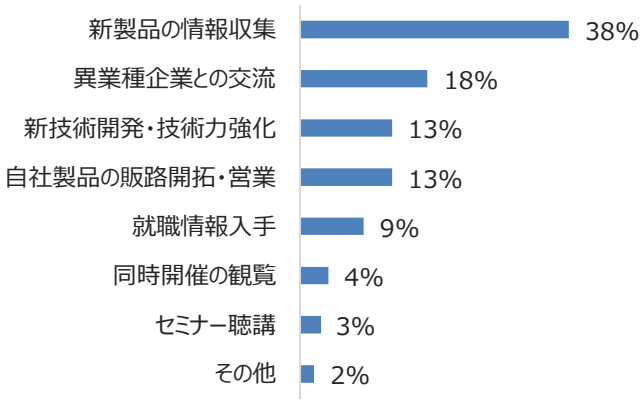
すべての年代に満遍なくご来場いただいておりますが、例年に比べ10代・20代の来場者の割合が多くなっています。

■ 居住地（会社所在地）



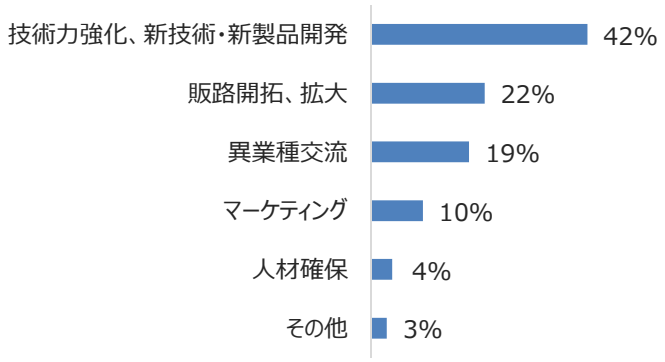
札幌・札幌近郊から来場される方の割合が多くなっています。

■ 来場目的



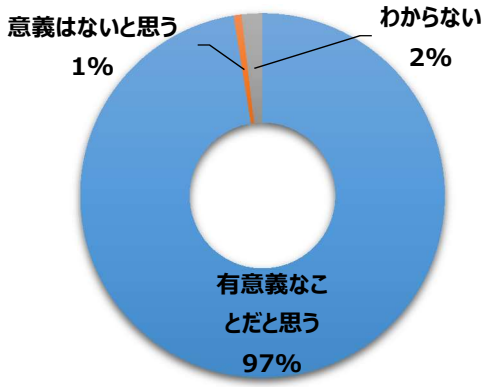
毎年「道内初」展示の場としてビジネスEXPOを活用してくださる企業が多く、新製品・新技術を求めて来場される方の割合が多くなっています。

■ ビジネスEXPOで得た情報の役立て方



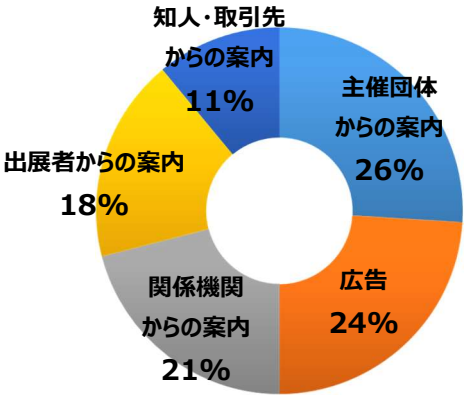
“技術力強化、新技術・新製品開発”や“販路の開拓、拡大”に活かせる情報を来場された方は求めています。

■ イベントの企画・開催について



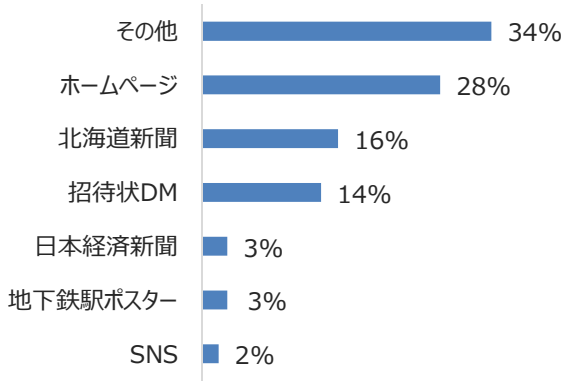
97%の方がイベントの開催は有意義だと回答くださいました。

■ 来場するきっかけ



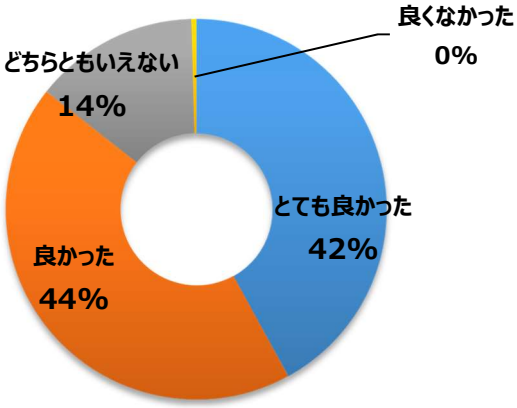
広告や主催団体・関係機関からの案内でご来場された方が多かったようです。

■ 来場のきっかけとなった広告



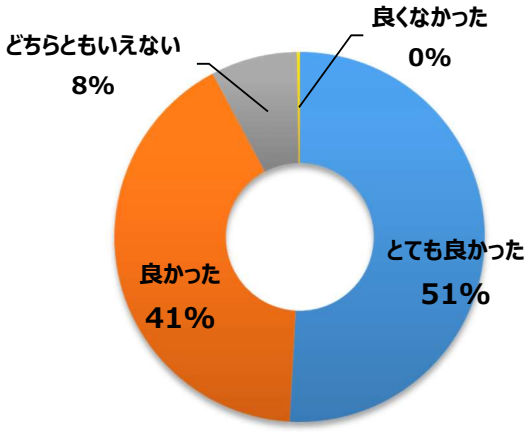
ホームページや北海道新聞を見てご来場いただいた方が多かったようです。

■ 公式ホームページ（動画付き出展企業情報）



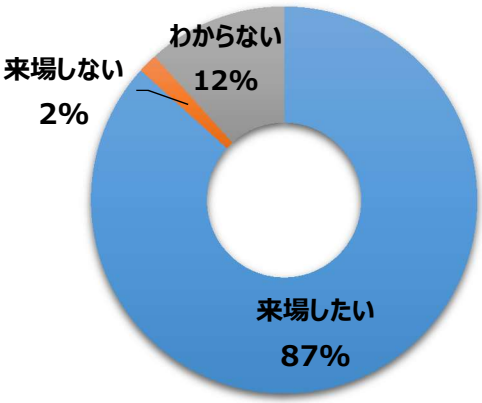
とても良かったまたは良かったと回答いただいた方が86%と、高評価をいただきました。

■ 未来創造ゾーンについて



時流に沿った展示となり、マスコミをはじめ、沢山の方にご注目いただきました。

■ 次回の来場について



87%の方が次回も来場したいと回答！

来場者様からのご意見・ご要望 （※一部抜粋）

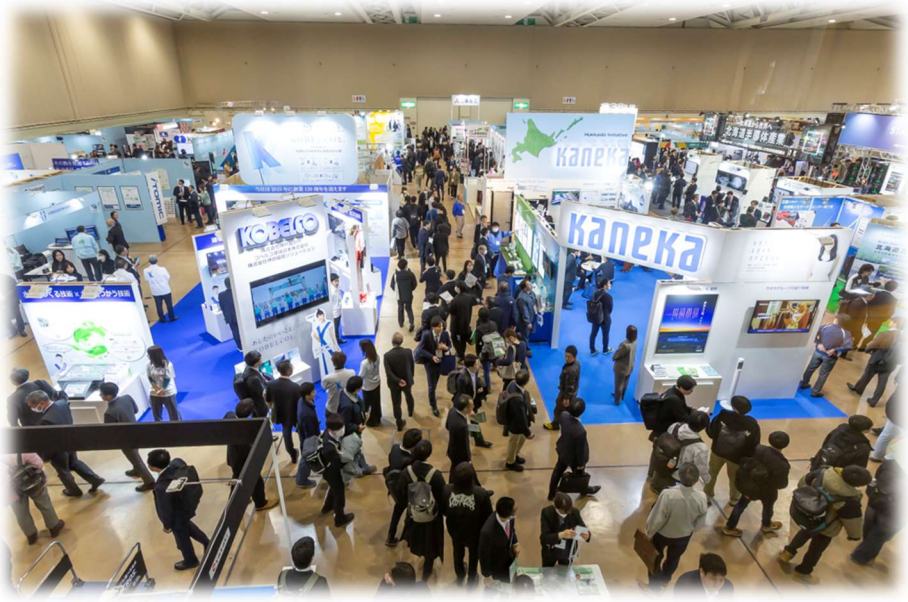
- 天候の悪い中たくさんの方が集まったと思います。
- 展示ブースの概要がもっとぱっと見でわかるようになっていると、詳しく見るかどうかの判断がつきやすくありがたいです。
- 2年ぶりに訪れました。コロナ禍の時とは変わり、勢いを感じました。
- 短かったので話時間が足りず、来年は3日～4日にできないか。入場料とっても良いので。
- もっと様々な展示が見たい。
- 各ゾーンの中で同業種の企業の比較検討も可能なため、有意義だと感じた。
- このまま続けてほしいと感じました。
- 駐車場の誘導が悪すぎます。次回は改善していることを期待します。
- ユーザー企業の他、協力先となるメーカー・商社との面識も出来たことは良かった。
- セミナーがすぐ満席になったのが不満。
- どれも興味がある企業ばかりでとても将来のイメージとして参考になりました。
- 以前は技術的な出展が多かったが、減ってしまった印象。
- 企業の製品を知ることができ、深掘りできたため、よかった。
- 食品関係が少ない。
- 開催時期をもっと暖かい時期にやって欲しい。
- とても就職のヒントとなり、ゲーム関連の仕事により一層就きたいと思いました。
- 毎回新しい発見があり、勉強になりました。次回も必ず来ます。

Ⅷ. むすび

２日間に亘り「産・学・官・金」連携による人と物と情報の交流ステージを繰り広げたビジネスEXPO「第38回 北海道 技術･ビジネス交流会」は、多くの方々から大変有意義な企画と評価をいただき、盛況のうちに閉会することが出来ました。

アンケートでは、数々の貴重なご意見をいただくとともに、展示会の意義として来場者並びに出展者の皆様からは継続実施と、さらなる充実に大きな期待が寄せられました。

最後にご参加いただきました皆様方をはじめ、ご支援・ご協力を賜りました関係者各位に対しまして心から厚くお礼申し上げます。



＜参考資料＞

●展示会の様子（写真）

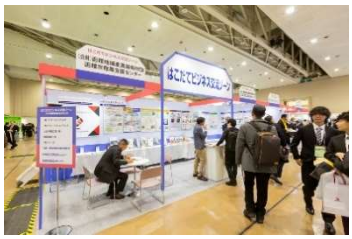
●広報/宣伝制作物一覧

●新聞掲載記事等

●「会場のご案内」パンフレット

●次回、第39回ビジネスEXPO開催日程のお知らせ

～展示会の様子～



Business EXPO

【パネルディスカッション】
北海道スタートアップ 今後の展望

【パネルディスカッション】
道内データセンターを成長基盤とした、
AIサービスの創出・展開

～新聞広告～

●北海道新聞（全道版）
　掲載日：10/7（月） 10/21（月） 10/29（火）

●日本経済新聞（北海道版）
　掲載日：10/1（火） 10/16（水） 11/4（月）

※サイズ：全5段/モノクロ

●公式ホームページ （https://www.business-expo.jp）

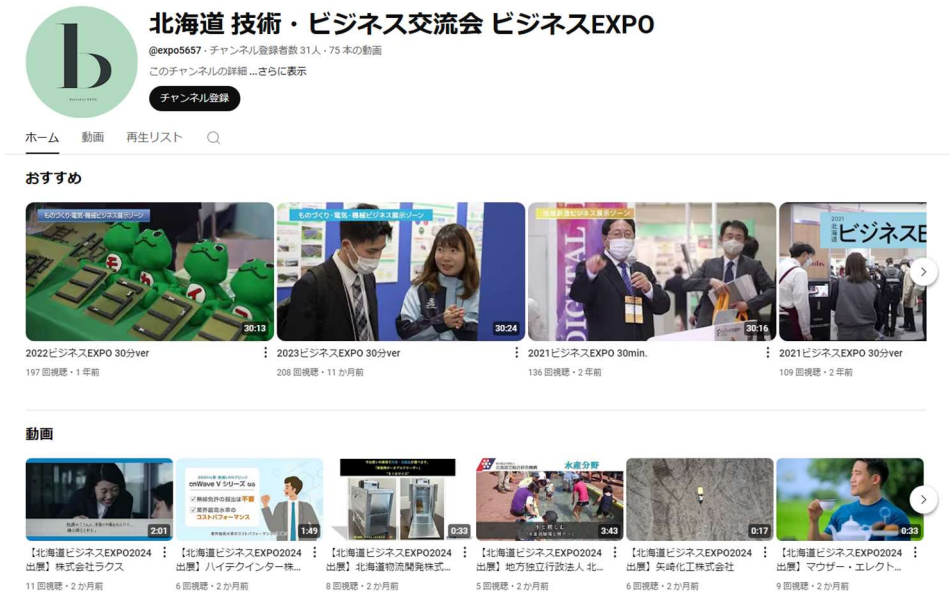
●公式Facebook
（https://www.facebook.com/hokkaido.businessexpo）

●地下鉄駅貼ポスター

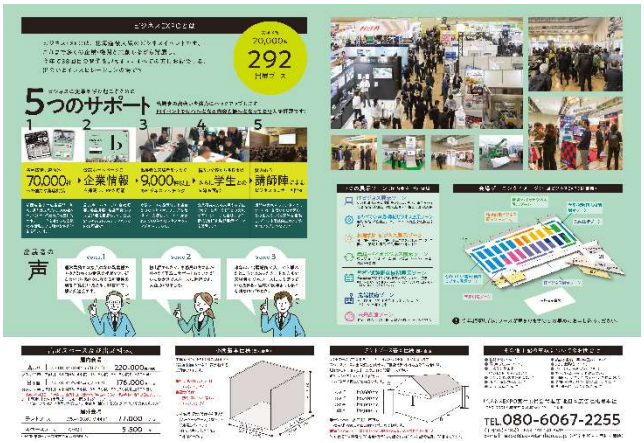
※A2サイズ

●公式インスタグラム（https://www.instagram.com/business_expo_hokkaido/）

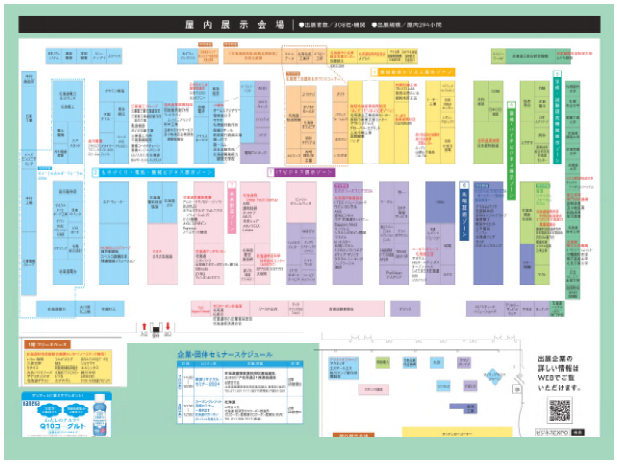
●公式YouTubeチャンネル
(https://www.youtube.com/channel/UCGiQ7664YtunVHHoBBYAOnQ/videos)



●「出展のご案内」パンフレット



●「ご招待状」パンフレット



～新聞掲載記事等～

▼2024年5月24日　北海道新聞

ビジネスEXPO 出展希望殺到

３日間で予定数に 投資相次ぎ高まる関心

北海道科学技術総合振興センター（ノーステック財団）は23日、11月7、8日にアクセスサッポロ（札幌市白石区）で開催する「ビジネスEXPO」について、屋内ブースへの出展申し込みが20日の募集開始から3日で予定数に達したと明らかにした。次世代半導体製造を目指すラピダス（東京）の進出など新規産業への投資が相次ぐなか、道内ビジネスへの関心が高まっている。

ビジネスEXPOは、ノーステック財団などが組織する北海道技術・ビジネス交流会実行委員会が毎年開催する道内最大級のビジネス展示会。今年は半導体やグリーントランスフォーメーション（GX）関連の企業などから応募が相次ぎ、約290の屋内ブースが埋まった。昨年も同時期に募集したが、予定数が集まるまで2週間ほどかかった。同財団の担当者は「3日で締め切りは例がない」と驚く。現在はキャンセル待ちを募集しているが、すでに30社程度が登録。屋外ブースには空きがあるという。

（鹿野海人、宇野沢晋一郎）

▼2024年10月9日　建設新聞

11月7、8日に開催

アクセスサッポロで ビジネスEXPO

道内最大級のビジネスイベント「第38回北海道ビジネスEXPO」が11月7、8の両日、アクセスサッポロで開かれる。今回のテーマは「創造的破壊を北海道から～GX／DX／SXで革新的イノベーションを」。2万人の来場を見込んでいて、企業、団体、官公庁、研究機関が294のブースを出展する。

ビジネスマッチングや技術交流によるイノベーション創出を目的としたイベント。会場内を①ITビジネス②ものづくり・電気・機械ビジネス③地域創造ビジネス④環境・バイオビジネス⑤学術・試験研究⑥先端技術⑦未来創造―のゾーンに分けて最新技術や新製品を提案する。

ビジネスセミナーでは、昨年に続きラピダスの小池淳義社長が基調講演する。このほかスタートアップやデータセンター、金融、北海道経済をテーマに講演とパネル討論を予定している。

開場時間は、7日が午前10時から午後5時、8日が午前9時30分から午後5時まで。同時開催で2024年度北海道新技術・新製品開発賞受賞企業展、資源リサイクルフォーラム2024などを開く。

問い合わせは実行委事務局、電話011（716）9150まで。

▼2024年10月28日　北海道新聞 WEB

「ビジネスEXPO」　札幌で11月7、8日　ラピダス社長が講演

権藤泉　会員限定記事

2024年10月28日 17:47(10月28日 17:58更新)

あとで読む

ラピダス小池淳義社長

道内最大級のビジネスイベント「ビジネスEXPO」が、11月7、8日に札幌市白石区のアクセスサッポロで開かれる。「“創造的破壊”を北海道から」をテーマに、道内外の308社・機関が出展。半導体やデータセンター、脱炭素分野などの最新知見をPRする。

北海道科学技術総合振興センター（ノーステック財団）などの実行委が主催。展示は、半導体や宇宙産業などの「未来創造」、食産業向けロボットなどを集めた「先端技術」など7ゾーンで構成。半導体関連のブースは昨年の3倍に広げる。

7日は千歳市内で次世代半導体の量産を目指すラピダスの小池淳義社長が、工場建設の進捗（しんちょく）や今後の展望について講演。スタートアップやデータセンター関連企業によるパネル討論もある。

7日は午前10時～午後5時半、8日は午前9時半～午後5時。入場無料。事前に専用ページから申し込む。問い合わせは実行委、電話011・716・9150へ。

（権藤泉）

▼2024年10月30日　日刊工業新聞

308者出展、DCゾーンも

北海道ビジネスEXPO 来月7日開幕

【札幌】北海道技術・ビジネス交流会実行委員会などは、北海道最大のビジネス展示会「第38回北海道ビジネスEXPO」を11月7、8の両日、札幌市白石区のアクセスサッポロで開く。半導体関連企業6社や集積が始まっているデータセンター（DC）企業らも出展予定。主催はこのほか、北海道経済産業局、北海道など。

ITビジネス、ものづくり・電気・機械ビジネス、地域創造ビジネス、環境・バイオビジネス、学術・試験研究機関、先端技術、未来創造の7ゾーンを設定。屋内だけで294小間、308社・機関が出展する。

今回初めてDCコーナーを設置。苫小牧市に立地を決めたソフトバンクなども出展する。前回初めて設定した半導体産業コーナーには、2025年に試作品の製造を始める計画のラピダス（東京都千代田区）をはじめ、アムコー・テクノロジー・ジャパン（同港区）やSUMCO、ミツミ電機（同多摩市）など6社、1機関が参加する。

入場者は2日間で延べ2万3000人超を見込む。入場無料だが、事前登録が必要。

北海道最大のビジネス展となる（昨年の開催時）

▼2024年10月30日　北海道新聞

半導体・宇宙産業PR

札幌で7、8日「EXPO」

道内最大級のビジネスイベント「ビジネスEXPO」が、11月7、8日に札幌市白石区のアクセスサッポロで開かれる。「〝創造的破壊〟を北海道から」をテーマに、道内外の308社・機関が出展。半導体やデータセンター、脱炭素分野などの最新知見をPRする。

北海道科学技術総合振興センター（ノーステック財団）などの実行委が主催。展示は、半導体や宇宙産業などの「未来創造」、食産業向けロボットなどを集めた「先端技術」など7ゾーンで構成。半導体関連のブースは昨年の3倍に広げる。

7日は千歳市で次世代半導体量産を目指すラピダスの小池淳義社長が講演。スタートアップやデータセンター関連企業によるパネル討論もある。

7日は午前10時～午後5時半、8日は午前9時半～午後5時。入場無料。事前に専用ページ＝QRコード＝から申し込む。

小池社長の講演は定員に達したため受け付け終了。問い合わせは実行委、電話011・716・9150へ。（権藤泉）

～新聞掲載記事等～

▼2024年11月2日　北海道新聞

来週の北海道経済　11月3日～9日

ラピダス工事 社長講演に注目

次世代半導体製造を目指すラピダス（東京）の小池淳義社長が7日、札幌市内で相次ぎ講演する。まずは道内最大級のビジネスイベント「ビジネスEXPO」会場で、午前10時50分から「世界に挑め！～次世代半導体はMade in北海道」をテーマに登壇。午後4時45分からは北大学術交流会館講堂で「千載一遇の機会に賭ける！～Rapidusの歩みと挑戦～」と題して語る。

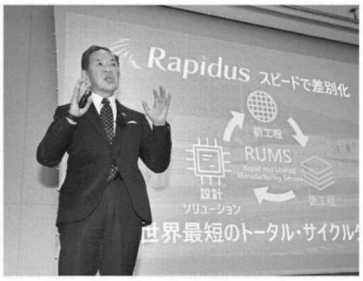
千歳市内でのラピダスの工場建設は佳境を迎えている。市が1日発表した来週の1日あたり作業員数は4300～4400人。工事開始以来、最も多かった今週と同じ水準だ。

ただ、工事を請け負う鹿島（東京）が着工前に提出していた作業員数の見込みでは、9月時点の作業員数は4500人弱で、11月にはピークを過ぎ、3000人台に減っているはずだった。この約2カ月の「ずれ」もあり、道内経済界には「工事が遅れているのでは」との見方がくすぶっている。

10月17日には連合北海道が、ラピダス工事で長時間労働など労働者の負担が大きいとして、北海道に対し、工期延長を含む労働環境の改善を働きかけるよう要請した。連合北海道による要請は8月に続く2回目だ。

小池氏は昨年もビジネスEXPOにリモートで登壇し、ラピダス進出による好影響が道内の幅広い業種に波及すると述べ、聴衆の期待を高めた。同社が予定する2027年の量産開始をにらみ、資本増強も焦点だ。今年は何を語るのか。夢や希望だけではない、工事の進み具合を含めた「現実」にどう言及するのかが注目だ。

（宇野沢晋一郎）



記者会見で今後の計画を説明するラピダスの小池淳義社長＝4月2日、東京都内（金田翔撮影）

▼2024年11月7日　電気新聞

北海道ビジネスEXPO

きょう札幌で開幕

308社・機関が出展

半導体、宇宙、食など 革新的な取組み紹介

第38回北海道ビジネスEXPO（実行委員会主催）がきょう7日に札幌市のアクセスサッポロで開幕する。創造的破壊をテーマに約300ブースが出展。半導体、宇宙、食、エネルギーなど様々な産業の出展者が革新的な取り組みを紹介する。次世代半導体で注目を集めるラピダスはブースを出展するほか、小池淳義社長が基調講演を行う。期間は8日まで。約2万人の来場を見込む。

308社・機関が出展する。屋内は294ブースで、半導体産業は設計、前工程、後工程の各企業が参加。注目度の高さを受け、前回よりも出展規模を3倍に拡大する。データセンター関連は、建設中のソフトバンクデータセンターをAR（拡張現実）ゴーグルを使って案内する。スマートエネルギーフォーラムも同時開催し、北海道電力とともにグループ企業が参加する。屋外では関西電力がブースを出展する。

併催するセミナーでは、AI（人工知能）スタートアップとして注目を集めるABEJAの岡田陽介CEO（最高経営責任者）らが講演を行う。

初日は北海道の鈴木直道知事と北海道電力の藤井裕会長（ノーステック財団理事長、実行委員長）があいさつする。入場無料だが、来場の際は事前登録が必要となる。

～新聞掲載記事等～

▼2024年11月8日　建設新聞

北海道ビジネスEXPO開幕

最先端技術の競演

道内最大級のビジネスイベント「北海道ビジネスEXPO」が7日、アクセスサッポロで開幕した。「創造的破壊を北海道から～GX／DX／SXで革新的イノベーションを」をテーマに、道内外の企業、団体、官公庁、研究機関が294ブースを出展。8日までの2日間で2万人の来場を見込んでいる。

ビジネスマッチングや技術交流によるイノベーション創出を目的としたイベント。北海道経済産業局、道、札幌市、道経済連合会などでつくる北海道技術・ビジネス交流会実行委員会が主催する。今回で38回目を数える。

企業や官公庁などが294ブース出展

会場は7ゾーンで構成。ものづくり・電気・機械ビジネス展示ゾーンは最多の55社が出展した。コベルコグループからは、神戸製鋼所（本社・神戸）が鋼製建材、コベルコ建機（同・東京）が重機遠隔操作システムを提案。老舗家具屋の岡田建具製作所（同・恵庭）は、工具なしで車を車中泊仕様にできる家具「バンファニチャー」を展示した。

IT・ビジネス展示ゾーンでは、DXによる生産性向上やロボット技術に関する製品が並んだ。環境・バイオビジネス展示ゾーンでは、共和建設（同・共和）が取り扱っている急速発酵乾燥資源化装置「ERSシステム」を紹介した。

地域創造ビジネス展示ゾーンでは、道内企業を中心に地域資源の活用方法を提案。未来創造ゾーンでは、宇宙産業やGX、データセンターなどの分野から企業が出展した。

学術・試験研究機関展示ゾーンは、行政機関や大学、高専などが研究成果を発表。先端技術ゾーンには、さまざまなソリューション技術を持つメーカーが集結した。

ビジネスセミナーも企画し、7日午前には昨年に続いてラピダスの小池淳義社長が「世界に挑め！～次世代半導体はMade in 北海道～」をテーマに基調講演した。

8日は、金融セミナー「不安定なマーケット～激論米国大統領選挙後はどこに向かうか～」のほか、シェアリングエコノミー協会の石山アンジュ代表理事が、地域から日本を変える方法と北海道への期待を語る。

入場無料で8日は午前9時30分から開場し、午後5時で閉幕する。

～新聞掲載記事等～

▼2024年11月8日　日刊工業新聞

北海道ビジネスEXPO開幕

半導体・DC・宇宙注目

午前から2000人超す来場

北海道技術・ビジネス交流会実行委員会などによるビジネス展示会「第38回北海道ビジネスEXPO」が7日に札幌市白石区のアクセスサッポロで開幕した（写真）。出展規模は308社、294ブースと過去最大級で、午前から2000人を超える来場者でにぎわった。

開会式では主催の各機関のトップがあいさつ。鈴木直道北海道知事は「北海道の未来の姿の一端を見つめてほしい」と呼びかけた。鈴木洋一郎北海道経済産業局長は「日本の信頼は確かな技術力に裏付けられた底力にある。モノづくりの原点を忘れずにまい進した姿勢がここにはある」とアピールした。藤井裕北海道経済連合会長は「これからのビジネスは既存のスタイルやスピードでは通用しない。そのためのヒントがこのビジネスEXPOにはある」と語った。

今回のテーマは「創造的破壊を北海道から」。半導体、データセンター、宇宙産業、スタートアップなどの展示には見学者の列が途切れることはなく、注目の高さを物語っていた。最終日の8日は9時半から17時まで。実行委員会は2日間の来場者が2万人を超えると見込む。（札幌）

▼2024年11月8日　電気新聞

ビジネスEXPO札幌で開幕

第38回北海道ビジネスＥＸＰＯが７日、札幌市で開幕した。実行委員長を務める藤井裕・ノーステック財団理事長（北海道電力会長、北海道経済連合会会長）は開会式で、次世代半導体などについて「ビジネスのスピードが速く、従来の進め方では大きく後れを取る」と指摘。「既存の考え方にとらわれない新たなビジネスモデルが必要だ」とし、ビジネスＥＸＰＯのテーマに据えた「創造的破壊」の意義を訴えた。

北海道から産業創造

次世代半導体などＰＲ

北海道の鈴木直道知事は開会式で、藤井理事長と来賓を訪れ、半導体に関わる連携協定の締結やプロモーション活動をしたことを紹介。ＧＸ金融・資産運用特区を含め、「我が国の経済安全保障の問題や課題解決につながると考えている。その牽引役を北海道が担っていく」と語った。札幌市の秋元克広市長や北海道経済産業局の鈴木洋一郎局長もあいさつし、関係者らでテープカットを行った。

開会後、鈴木知事や藤井理事長は会場を視察。ラピダスのブースでは小池淳義社長が出迎え、模型を使って北海道千歳市に建設中の新工場を説明した。

小池社長はビジネスセミナーでも講演した。米国大統領選の結果は「残念」としつつ、「どの国も先端半導体は重要で、世界への影響はほとんどない」と話した。設計支援、前工程、後工程を一体で手掛けるラピダスの「ＲＵＭＳ」のコンセプトも紹介。「フィードバックを掛けることで新しいものを生み出せる」と強調し、目的に合ったチップをつくることで電力消費を従来の12分の1から13分の1に減らせるとも語った。

北海道ビジネスＥＸＰＯの期間はきょう8日まで。北海道電気保安協会や北海道ガスなど多数の企業・団体がブースを出しているほか、ＡＩ（人工知能）データセンターなどをテーマにしたビジネスセミナーが開かれる。併催のスマートエネルギーフォーラムには北海道電力グループなどが出展している。

㊤テープカットに臨む藤井理事長（中央）、鈴木知事（右）、秋元市長
㊦雪が降りしきる中、多くの来場者が詰めかけた北海道ビジネスＥＸＰＯ

～新聞掲載記事等～

▼2024年11月8日　北海道新聞

道内新産業 未来図は

札幌でビジネスEXPO

半導体機器、物流ロボ展示

道内最大級のビジネスイベント「ビジネスEXPO」が7日、札幌市白石区のアクセスサッポロで2日間の日程で開幕した。製造業やIT企業、大学など道内外の308社・機関が出展。道内の新産業として注目される半導体やデータセンター（DC）関連企業がブースを出したほか、人手不足が課題の製造業や物流業などの省人化につながるロボットなどが紹介された。

北海道科学技術総合振興センター（ノーステック財団）などでつくる実行委員会が主催。出展は昨年より6団体多く、初日は9909人が来場した。

半導体関連の企業は昨年の2社から6社に増加。千歳市で次世代半導体工場を建設中のラピダス（東京）など7社・機関が開発中の製品や用途を紹介した。恵庭市と空知管内上砂川町に製造拠点を持つ、光半導体デバイス開発・製造のデクセリアルズフォトニクスソリューションズ（栃木）は、光の強さを電流に変換するデバイスなどを展示した。

DC関連は、苫小牧市で大規模DCを整備するソフトバンク（東京）など6社・機関が出展。新潟県の新興企業ジルクが、サーバーの基板を水に浸して冷却する装置を初めて一般に公開した。

また、荷物を自動でパレットに積んだり、梱包作業を手助けしたりするロボットなども展示された。食品加工機械を製造・販売するニッコー（釧路）は段ボールの開封から荷物の取りだしまでを自動で行う装置を紹介。担当者は「職場の人手不足解消や、既存の従業員に長く働いてもらうための一助になれば」と期待する。

8日は午前9時半から午後5時までで、入場無料。来場には公式ホームページでの事前登録が必要となる。（鹿野海人、山口真理絵）

↑来場者でにぎわう半導体産業の展示スペース
←梱包された段ボール箱のテープを裁断し、中身を自動で取り出すニッコーの機械
（いずれも舘山国敏撮影）

36年道内総生産26兆円

ラピダス社長 講演で見通し

千歳市で次世代半導体の量産を目指すラピダス（東京）の小池淳義社長は7日、ラピダスの操業によって道内総生産が2036年に約26・1兆円になるとの試算を明らかにした。24年（20・9兆円見込み）から約25％増える計算で「半導体を通じて道内の産業構造をアップデートしたい」と述べた。

札幌市内で同日開幕したビジネスEXPO（実行委主催）で講演した。経済効果について「半導体を活用し1次産業や3次産業も効率化することで、人口が減る中でも1人当たりGDPを増やすことができる」とした。

ラピダスの従業員数については新卒と経験者を合わせて600人に達したと明らかにした。このうち米IBMで量産化技術の開発に取り組んでいる約150人は、今月から順次帰国するという。

工場建設の進捗については「1日の遅れもなく進んでいる」とした上で「（来年4月予定の）試作開始時点では試作ラインの整備が終わっていれば良い。並行して残り半分の量産ラインの整備を続ける」と述べた。

小池氏は同日、北大でも講演。半導体分野だけでなく経済学、心理学などを専攻する学生計7人との対談に臨んだ。求める人材について尋ねられると「半導体企業には文系を含めてさまざまな専門家が必要。大切なのは、どうしたら世の中を良くできるかを考え続ける情熱」と応じ、「国際的なコミュニケーションのために英語はぜひ身に付けてほしい」と呼びかけた。（権藤承）

ビジネスEXPOで講演するラピダスの小池社長（舘山国敏撮影）

▼2024年11月7日　UHB 北海道ニュース（WEB）

【北海道ビジネスEXPO】次世代半導体や宇宙科学技術のブースが出展 千歳市で量産化工場建設進む“ラピダス”も参加「素晴らしい環境で世界中の優秀なエンジニアが集まる」小池社長が自ら鈴木知事に説明 札幌市

11/7(木) 12:34 配信　3

北海道ニュースUHB

「創造的破壊を北海道から」がテーマ

UHB 北海道文化放送

次世代半導体などの最先端技術を紹介するイベントが11月7日から札幌市で始まりました。

テーマは「創造的破壊を北海道から」。

38回目となる北海道ビジネスEXPOが札幌市白石区で始まりました。

ラピダス「世界中の優秀なエンジニアが集まる」

鈴木北海道知事らに説明するラピダス小池社長

注目される未来創造ゾーンには千歳市で次世代半導体の量産化を目指すラピダスも出展。視察した鈴木知事らに小池淳義社長が自らブースの説明をしました。

「研究開発の人間と世界中のエンジニアが集まる。素晴らしい環境で世界中の優秀なエンジニアが集まる」（ラピダス 小池淳義社長）

会場にはデータセンターや宇宙科学技術のブースも出展。北海道ビジネスEXPOは8日まで開かれます。

▼2024年11月7日　TVh（WEBニュース）

最新技術が集結！「ビジネスEXPO」開幕　半導体産業などに注目集まる

2024/11/07

最先端の技術やサービスが集まる道内最大規模の展示会「ビジネスEXPO」が札幌で始まりました。イベントには道内外から308の企業・団体が出展しています。38回目のことしのテーマは「創造的破壊を北海道から」。

半導体関連企業やデータセンター、宇宙産業など道内経済の成長に貢献するとされる分野での展示が注目を集めていました。また、会場で行われたセミナーには次世代半導体の量産を目指すラピダスの小池淳義社長が登壇し、千歳の工場建設が順調に進んでいることをアピールしました。

ADVERTISEMENT
ロボットシステムのDX化を支援
RoboDK
無料トライアル受付中!
IDEC　IDECファクトリーソリューションズ株式会社

このほか、自動車部品の生産で使われる「レーザー加熱」の技術を食品加工に活用しようという企業も。

「こちらはレーザーによって15秒でお湯が沸く装置です。では実際に計ってみましょう…15秒経ちました、もう沸騰しています」（三品記者リポート）

加熱や乾燥にかかる時間が短くなり、生産性を上げられるとして、乾燥させた野菜やドライフルーツを製造する企業などが関心を示しているということです。

ビジネスEXPOは入場無料で、8日まで開かれています。

ロボットシステムのDX化を支
RoboDK
無料トライアル受付中!
IDEC　IDECファクトリーソリューションズ株式会

関連記事

企業様ビズリーチを無料で試す
株式会社ビズリーチ

▼2024年11月7日　NHK 北海道NEWS WEB

北海道 NEWS WEB

◀ 北海道

最新技術など紹介 “ビジネスＥＸＰＯ”始まる 札幌

11月07日　18時17分

道内に拠点を置く企業などが開発に取り組む最新技術や製品を紹介する大規模な展示会が７日から札幌市で始まり、先端半導体の国産化を目指すラピダスをはじめとした半導体産業の展示が注目を集めています。

この展示会は、道内企業の販路拡大や人材確保につなげようと毎年開かれていて、会場の札幌市白石区の「アクセスサッポロ」には３００余りの企業などがブースを設けています。
ことしは、半導体産業のコーナーが去年の３倍ほどの規模になっていて、千歳市で建設が進むラピダスの工場の模型などが展示されています。
また、道内に拠点を置く企業のブースでは、半導体材料のシリコンウエハーや、実際の製品が展示され、訪れた人たちが企業の担当者の説明に耳を傾けていました。
７日はラピダスの小池淳義社長が講演し「ラピダスが北海道に来ることで、道内でもＡＩやロボットの活用が進み産業構造がアップデートし、農業などの分野でも新たな効果が期待できる」と工場進出の意義を語りました。
このほか、道内で設置が相次いでいるデータセンターのコーナーでは、苫小牧市で整備が進む国内最大級のセンターがＶＲで紹介されているほか、サーバーの部品を一般的な空気ではなく水を使って冷やす最新の装置が展示されています。
会場を訪れた工業高等専門学校の学生は「半導体の企業に関心があり見学に来ました。企業の展示を見て、早く就職したいという気持ちが強くなりました」と話していました。
この展示会「ビジネスＥＸＰＯ」は８日まで開かれています。

▼2024年11月25日　ソフトバンクニュース

2024-11-25

AI時代に備え、北海道に「第3の拠点」を新たに建設。ソフトバンクが「北海道ビジネスEXPO」で披露

IT&みらい | データセンター | AI | 社会課題に、アンサーを。

2024年11月7～8日、北海道最大級のビジネスイベント「北海道ビジネスEXPO」が開催。ソフトバンク株式会社は、2026年度に北海道苫小牧市で開業予定の「北海道苫小牧データセンター」をAR(拡張現実)を使ったコンテンツなどで紹介した他、パネルディスカッションに参加して北海道でのデータセンターの可能性や今後の展開について議論を交わしました。

次世代社会インフラ構想の要となる「Brain Data Center」として構築

今回行われた「第38回 北海道ビジネスEXPO」は、「"創造的破壊"を北海道から～GX／DX／SXで革新的イノベーションを～」をテーマとし、308の企業・団体・大学・研究機関が出展、2日間で2万1,000人以上が来場しました。ソフトバンクは未来創造ゾーンに設けられたデータセンターブースで、現在建設中のAIデータセンター「北海道苫小牧データセンター」を紹介しました。

北海道苫小牧に建設中のデータセンター完成予想図

▼じゃらんnet

ビジネスEXPO　北海道技術・ビジネス交流会

☆☆☆☆☆ -.-（口コミ0件）

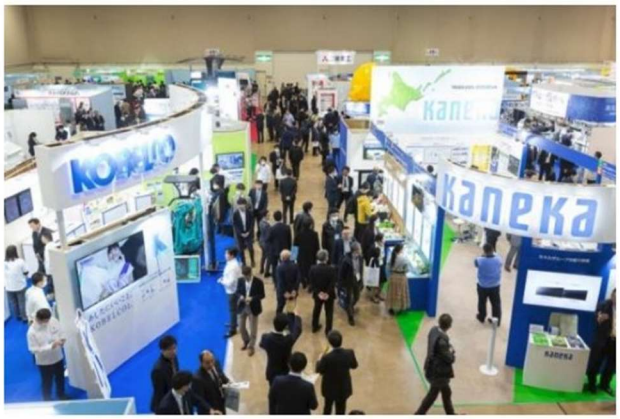
ここに行く計画を立てよう　口コミ投稿　写真投稿　行った　行きたい　クリップ　シェアする　メールする

エリア　北海道　札幌　札幌市白石区
開催期間　2024年11月7日～8日
開催場所　札幌市　アクセスサッポロ

概要　周辺の観光グルメ　周辺の宿・ホテル

ビジネスEXPO　北海道技術・ビジネス交流会

所在地を確認する



ビジネスEXPO　北海道技術・ビジネス交流会について

1987年初開催以来、毎年約2万人の来場を誇る、北海道最大級のビジネスイベント「ビジネスEXPO　北海道技術・ビジネス交流会」が、アクセスサッポロで開催されます。2024年は「“創造的破壊”を北海道から～GX／DX／SXで革新的イノベーションを～」をテーマに、地域における研究開発製品やそのノウハウが「ITビジネス」、「ものづくり・電気・機械ビジネス」、「地域創造ビジネス」、「環境・バイオビジネス」、「学術・試験研究機関」の各ゾーンにて展示されるほか、北海道の未来に目を向けた製品、サービスを一堂に展示する「未来創造ゾーン」や「先端技術ゾーン」も注目です。　※地下鉄大谷地駅から臨時バス運行

▼JETRO（日本貿易振興機構）HP

JETRO
日本貿易振興機構(ジェトロ)

海外ビジネス情報 サービス 国・地域別に見る 目的別に見る 産業別に見る

世界の見本市・展示会情報（J-messe） ビジネスEXPO 2024

世界の見本市・展示会情報（J-messe）

・業種別に見る ・開催地別に見る ・詳細検索 ・新着見本市 ・月間ランキング ・よくある質問（FAQ） ・見本市関連ニュース
・世界の展示会場 ・世界の見本市ビジネストレンド

ビジネスEXPO 2024

このページを印刷する　公式ウェブサイトへのリンク

会期	2024年11月07日 ～ 2024年11月08日
開催地	札幌 （北海道） / 日本 / アジア
会場	アクセスサッポロ
出展対象品目	ITビジネス、環境・バイオビジネス、ものづくり・電気・機械ビジネス、学術・試験研究機関、地域創造ビジネス、先端技術、未来創造
ご来場の方へ	入場資格：ビジネス関係者 入場方法：公式ウェブサイトからの事前登録 詳細は主催者へ直接お問い合わせください。
主催者	NOASTEC 住所：〒001-0021 札幌市北区北21条西12丁目コラボほっかいどう　公益財団法人北海道科学技術総合振興センター内 担当部課：北海道 技術・ビジネス交流会 実行委員会 事務局 担当者：飯田、北島 Tel：+81-011-716-9510 E-mail：info@business-expo.jp 問い合わせフォーム：https://www.business-expo.jp/contact/ Telは国際電話用の国番号から表示されています。
主催者より	同時開催展あり。
主催者	NOASTEC 住所：〒001-0021 札幌市北区北21条西12丁目コラボほっかいどう　公益財団法人北海道科学技術総合振興センター内 担当部課：北海道 技術・ビジネス交流会 実行委員会 事務局 担当者：飯田、北島 Tel：+81-011-716-9510 E-mail：info@business-expo.jp 問い合わせフォーム：https://www.business-expo.jp/contact/ Telは国際電話用の国番号から表示されています。
主催者より	同時開催展あり。
業種	・機械・工業技術／製造・生産技術、品質管理 ・機械・工業技術／先端技術、新素材、合成物、R&D ・情報・通信／通信、情報処理、コンピュータ ・サービス／地域的ビジネス、地場産業 ・環境／環境、廃棄物処理、リサイクリング ・農林水産・食品／農林水産物
開催頻度	毎年
過去の実績	2023年実績 来場者数：22942人 出展社数：302社 過去の実績は同時開催/併催展を含む場合もあります。
公式ウェブサイト	こちらの見本市・展示会のさらに詳しい情報は、主催者の公式ウェブサイト でご確認いただくことができます。
最終更新日	2024年 02月 09日

北海道最大級のビジネスイベント ｜ 会場のご案内

テーマ “創造的破壊”を北海道から ~GX/DX/SXで革新的イノベーションを~　294 ブース出展

38th 北海道ビジネスEXPO

名誉会長 鈴木 直道（北海道知事）
実行委員長 藤井 裕（ノーステック財団理事長）

未来創造ゾーン
■ 半導体・データセンターの紹介
■ ゼロカーボンへの取り組み
■ 宇宙産業の紹介
■ スタートアップ企業の紹介
ほか

先端技術ゾーン
■ FOOD FACTORY 2024 ~食×ロボット・機械の創造領域~
ほか

その他 5つの展示ゾーン
■ ITビジネス
■ ものづくり・電気・機械ビジネス
■ 地域創造ビジネス
■ 環境・バイオビジネス
■ 学術・試験研究機関

北海道には、世界の競争にさらされる半導体工場、データセンター、脱炭素、洋上風力、宇宙関連ビジネスなどの大型プロジェクトが計画されていますが、いずれもこの世界のスピードは速く、これまでの社会構造やビジネスモデルでは大きく遅れをとります。

未来を切り拓く「GX/DX/SX　新たな社会・ビジネス変革」により、**“破壊＋創造＝革新的イノベーション”**を起こすことで、北海道経済が加速度的に成長することを目指します。

公式HPにて来場事前登録受付中!
イベントの入場には来場登録が必要となります。
※詳細は裏面をご確認ください。

2024 11/7(木) 10:00_17:30　11/8(金) 9:30_17:00

入場無料 ｜ アクセスサッポロ 札幌市白石区流通センター4丁目

無料シャトルバス運行 地下鉄「大谷地駅」より15分間隔

同時開催イベント　令和6年度「北海道新技術・新製品開発賞」受賞企業展／令和6年度「北海道省エネルギー・新エネルギー促進大賞」受賞企業展／資源リサイクルフォーラム2024／札幌商工会議所ものづくりコーナー／北のITシーズフェア2024／スマートエネルギーフォーラム2024／FOOD FACTORY2024~食×ロボット・機械の創造領域~

お問合せ先 北海道 技術・ビジネス交流会 実行委員会 事務局
〒001-0021 札幌市北区北21条西12丁目 コラボほっかいどう 公益財団法人北海道科学技術総合振興センター内
TEL.011-716-9150 FAX.011-708-6529

Business EXPO
ビジネスEXPO 検索
https://www.business-expo.jp

【ご来場の皆さまへ】来場事前登録のお願い

STEP1 公式HPから事前登録
入場にはWEBでの来場事前登録が必要となっております。
2024北海道ビジネスEXPO 事前登録
ビジネスEXPO 検索

STEP2 案内メールより入場証を出力
事前登録後の案内メールのURLにアクセスし、入場証を出力してください。
2024 北海道 ビジネスEXPO PASS

STEP3 イベント当日、入場証を提示
入場証の2次元バーコードを読み取りチェックイン。そのままですぐにご入場いただけます。
2024 北海道 ビジネスEXPO

会場までの交通アクセスと無料送迎バスのご案内

アクセスサッポロ
札幌市白石区流通センター4丁目 TEL.011-865-5811

無料駐車場　約1,000台

会場までのご案内
- 地下鉄東西線「大谷地駅」から車で3分
- 地下鉄東西線「南郷18丁目駅」、「大谷地駅」から徒歩15分
- JR「新さっぽろ駅」から車で5分
- 新千歳空港から
  - ・バスで「大谷地バスターミナル」下車（35分）→タクシーで3分
  - ・JR快速エアポート（12分間隔で運行）で「新さっぽろ駅」下車（快速27分）→タクシーで5分

タクシー利用の場合
- 「新さっぽろ駅」からタクシーで5分
- 「大谷地駅」からタクシーで3分

無料シャトルバス運行
地下鉄東西線「大谷地駅」下車
大谷地バスターミナル ⇔（15分間隔）アクセスサッポロ

7日、8日地下鉄東西線「大谷地駅」と会場間に無料シャトルバスを運行しますのでご利用ください。
大谷地バスターミナルは地下鉄大谷地駅と直結。
1階の1番のりば「中央バス」ビジネスEXPO会場行をご利用ください。

時刻＼行先	大谷地バスターミナル（1番のりば）▶会場				会場▶大谷地バスターミナル（1番のりば）			
8	00	15	30	45				
9	00	15	30	45				
10	00	15	30	45		▲15	30	45
11	00	15	30	45	00	15	30	45
12	00	15	30	45	00	15	30	45
13	00	15	30	45	00	15	30	45
14	00	15	30	45	00	15	30	45
15	00	15	30	45	00	15	30	45
16	00	15	※30	※45	00	15	30	45
17					00	15	30	45
18					00	15	▲30	45
19					▲00	15		

※印は7日のみ運行 ▲印は8日のみ運行

北海道最大級のビジネスイベントならではの出展ブース数と来場者数！

[出展ブース数]（企業・団体）
2015: 306 / 2016: 313 / 2017: 294 / 2018: 289 / 2019: 289 / 2020: 230 / 2021: 272 / 2022: 291 / 2023: 292 / 2024(年): 294
294ブース
2013年より12年連続会場は満杯
※2020年~2021年コロナ禍のため出展制限あり

[来場者数]（名）
2016: 20,417 / 2017: 20,850 / 2018: 21,200 / 2019: 21,703 / 2020: 14,692 / 2021: 20,180 / 2022: 23,857 / 2023(年): 22,942
来場者 22,942名
※2020年と2021年はコロナ禍での開催

主催:北海道 技術・ビジネス交流会 実行委員会
経済産業省北海道経済産業局、北海道、札幌市、北海道経済連合会、一般社団法人北海道商工会議所連合会、北海道商工会連合会、公益財団法人北海道中小企業総合支援センター、一般社団法人北海道機械工業会、札幌商工会議所、一般社団法人北海道中小企業家同友会、公益財団法人北海道科学技術総合振興センター（ノーステック財団）

協賛／エア・ウォーター（株）、（株）エコニクス、SMBC日興証券（株）札幌支店、（株）神戸製鋼所北海道支店、電制コムテック（株）、（株）東芝北海道支社、トヨタ自動車北海道（株）、日本管財（株）北海道支店、（株）日本政策投資銀行北海道支店、（株）日立製作所北海道支社、BIPROGY（株）北海道支店、富士通（株）、富士電機（株）北海道支社、富士フイルムビジネスイノベーションジャパン（株）北海道支社、北電興業（株）、ほくでんサービス（株）、ほくでん情報テクノロジー（株）、（株）北洋銀行、（株）北海電工、北海道ガス（株）、（株）北海道銀行、北海道クリエイティブ（株）、北海道総合通信網（株）、一般財団法人北海道電気保安協会、北海道電力（株）、北海道パワーエンジニアリング（株）、三井物産（株）北海道支社、三菱重工業（株）北海道支社、三菱商事（株）北海道支社、三菱電機（株）北海道支社

後援／国立研究開発法人産業技術総合研究所、北海道教育委員会、旭川市、小樽市、帯広市、北見市、釧路市、苫小牧市、函館市、室蘭市、一般財団法人札幌産業流通振興協会、国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構、独立行政法人中小企業基盤整備機構北海道本部、一般社団法人日本航空宇宙学会北部支部、公益社団法人日本青年会議所北海道地区協議会、独立行政法人日本貿易振興機構北海道貿易情報センター、一般社団法人北海道IT推進協会、北海道技術振興連絡協議会、北海道経済同友会、一般社団法人北海道建設業協会、北海道市長会、北海道地域産業技術連携推進会議、公益財団法人はまなす財団、北海道町村会、一般社団法人北海道農業機械工業会、一般社団法人北海道貿易物産振興会、北海道中小企業団体中央会、電気新聞北海道支局、日刊工業新聞社札幌支局、日本経済新聞社札幌支社、北海道新聞社、NHK札幌放送局、HBC北海道放送、STV札幌テレビ放送、HTB北海道テレビ、UHB北海道文化放送、TVh

屋内展示会場 ●出展者数／308社・機関 ●出展規模／屋内294小間
1 ITビジネス展示ゾーン
2 ものづくり・電気・機械ビジネス展示ゾーン
3 地域創造ビジネス展示ゾーン
4 環境・バイオビジネス展示ゾーン
5 学術・試験研究機関展示ゾーン
6 先端技術ゾーン
7 未来創造ゾーン
屋外展示会場
1階 フリースペース
企業・団体セミナースケジュール
出展企業の詳しい情報はWEBでご覧いただけます。
ビジネスEXPO 検索
入口
受付
出口

ビジネスセミナープログラム ｜ 2階レセプションホール〔各テーマ定員150名〕

参加無料 事前登録制

※講演・セミナーは、当日のお申込みも受付ております。　※事前申込みにより定員を超えた場合はご容赦願います。　※当日お申込みを希望される方は、2Fレセプションホールまでお越し下さい。

1日目 11月7日（木）

基調講演／10:50～11:50

世界に挑め! ～次世代半導体はMade in北海道～

〔講師〕**小池 淳義** 氏　Rapidus㈱ 代表取締役社長

昨年に引き続き、小池社長が登場！

世界と協力し、日本の開発・モノづくり力を結集して、世界最先端のロジック半導体の開発、製造を目指すラピダス。

次世代半導体製造拠点の立地を契機とした経済効果や関連産業の集積が期待される中、世界中が注目する工場建設の進捗状況や、北海道はどう変わるかなど、今聞きたい最新情報をお話しいただきます。

北海道ものづくりセミナー／13:00～14:00

「北海道新技術・新製品開発賞」受賞企業発表会

【参加企業】●㈱グラッド　●㈱けんぶちVIVAマルシェ　●㈱ネクステラス　●こぶし建設㈱　●函館どつく㈱

スタートアップ セミナー／14:30～17:00

【第1部】14:30～15:25　生成AI時代におけるスタートアップ企業の重要性

〔講師〕**岡田 陽介** 氏　㈱ABEJA 代表取締役CEO

ChatGPTのプロトタイプが公開されてから、まだ2年も経っていません。OpenAIが突如出現し、大企業が研究開発に相当なリソースを費やしてきた自然言語処理という分野でブレークスルーを引き起こしました。今、テクノロジースタートアップ企業を立ち上げようとする起業家達にとっては、大きなチャンスです。この激動のタイミングにおいて、実際に会社を創っていくことについて、解像度高くお話しいただきます。

【略歴】2012年9月、株式会社ABEJAを起業。2017年、一般社団法人日本ディープラーニング協会（JDLA）理事。経済産業省・経務省・IPA主導の政府有識者委員会にて委員を多数歴任。

【第2部】15:30～17:00／パネルディスカッション　北海道スタートアップ 今後の展望

「道内大学発スタートアップ企業」とABEJA岡田氏によるパネルディスカッションを開催！　スタートアップの創出・成長に向け、戦略・支援・パッションなど熱く

〔登壇者〕

岡田 陽介 氏　㈱ABEJA 代表取締役CEO

櫻井 恵介 氏　Letara㈱ 取締役CFO

地球を超えて、より早く、より遠くへ！
宇宙空間での安全な輸送に向けた「ハイブリッド化学推進

北出 宗治 氏　AWL㈱ 代表取締役社長兼CEO

More than your eyes can see 目を超える視界を
最先端エッジAI映像解析技術で実装実績No.1、リテール業界

天野 麻穂 氏　HILO㈱ 代表取締役

治療薬の効果を患者ごとに可視化！
北大医学研究院の「蛍光バイオイメージング技術」を用い、診断薬の開発を目指す。

〔ファシリテーター〕**吉田 聡子** 氏
（北海道クリエイティブ㈱ 代表取締役社長）

2日目 11月8日（金）

データセンター セミナー／10:30～12:10

【第1部】10:30～11:15　GX・カーボンニュートラル・DXを同時実現するAIデータセンターへの挑戦

〔講師〕**江崎 浩** 氏
東京大学大学院情報理工学系研究科教授・北海道顧問

情報通信工学の第一人者で、国のエネルギー政策の有識者である江崎氏に、北海道でのAIデータセンターの可能

【第2部】11:15～12:10／パネルディスカッション　道内データセンターを成長基盤とした、AIサービスの創出・展開

第1部講師 江崎氏と各界で活躍中の4名によるパネルディスカッションを開催。

〔登壇者〕

浅沼 邦光 氏　ソフトバンク㈱次世代社会インフラ事業推進室 室長

柳川 直隆 氏　㈱Flower Communications 代表取締役
合同会社石狩再エネデータセンター第1号

土井 裕介 氏　㈱Preferred Networks 計算基盤担当VP
AIに関し、アプリケーションから半導体まで垂直統合型の開発を行うプリファードネットワークスにおける計算基盤事業の責任者

〔ファシリテーター〕**山本 強** 氏　北海道大学名誉教授

金融セミナー／13:00～14:40

【第1部】13:00～14:00　不安定なマーケット～激論 米国大統領選挙後はどこに向うか～

「モーサテ」「日経CNBC」等で注目のお二人が登壇し、11/5米国大統領選挙後のマーケット「株式」「為替・金利」について、最新予想を発表いたします。

〔講師〕**大川 智宏** 氏
智剣・OskarグループCEO兼 主席ストラテジスト

昨年当イベントやモーサテ等で2024年北海道主要企業の株価暴騰を予見した、金融界の鬼才が再度登壇

〔講師〕**尾河 眞樹** 氏
ソニーフィナンシャルグループ㈱ 執行役員チーフアナリスト

ソニー銀行㈱・ウェルスナビ㈱ 取締役も兼務し、為替分野で大活躍する著名アナリストが登壇

【第2部】14:00～14:40／トークセッション　激論 対談：どうなる!? 金融市場

不安定さを増すマーケットの行方を、お二人に徹底討論していただきます。

北海道応援セミナー／15:00～16:00

「地域から日本を変えられる」～地方経済のこれから～

〔講師〕**石山 アンジュ** 氏
一般社団法人シェアリングエコノミー協会　代表理事/シンクタンクPublic Meets Innovation代表理事

"地域"が注目される現在、新しい地方創生ビジネスモデルをつくることが、日本の繁栄につながるのではないだろうか。ミレニアル世代のシンクタンク代表理事の石山氏に、シェアリングエコノミー（共感経済・共有経済）により「地域から日本を変える方法」と、北海道への期待を語っていただきます。

【略歴】社会起業家。政府と民間のパイプ役として規制緩和や政策推進にも従事。世界経済フォーラムGlobal Future Council Japanメンバー。USEN-NEXT HOLDINGS 社外取締役。「羽鳥慎一モーニングショー」、「真相報道バンキシャ!」等に出演。Forbes JAPAN「日本のルールメイカー30人」に選出。

ビジネスEXPO 2024　トピックス ｜ テーマに沿った出展&イベントが多数!

未来創造ゾーン　北海道の未来に向けた「新たな価値・サービス」を発信します。

新しいテクノロジーの発展を通して、新たな価値を長期的に創造し挑戦し続けること、サステナビリティ変革（SX）具現化が、北海道の経済成長を支える大きな原動力になると考え、GX／DXの推進等 "未来に向けた技術・サービス" を展示いたします。

出展内容

- ●北海道から世界へ！　注目の半導体企業
- ●北海道への期待が高まる最新データセンター
- ●世界が注目する宇宙都市へ！　北海道の宇宙産業
- ●革新的な技術で新たな価値を生み出す 北海道発スタートアップ企業
- ●カーボンニュートラル実現に向けた製品&取り組みの紹介
- ●産学官金の連携によるGXの推進及び金融機能の集積への取り組み
- ●北海道の課題を解決:環境・暮らしを守る新技術 ほか

魅力あふれるブースが大集結！

出展企業

アイチテクノメタルフカウミ㈱, AWL㈱, ㈱アムコー・テクノロジー・ジャパン, 同石狩再エネデータセンター第1号, カサシマ建設㈱, ㈱カネカ, ㈱カネカ北海道, 札幌市, ㈱SUMCO, GBnode㈱, ㈱ZYRQ, SPACE COTAN㈱, ゼロカーボン北海道, ㈱ゼンリン, ソフトバンク㈱, 大樹町, Team Sapporo- Hokkaido, ㈱調和技研, デクセリアルズ フォトニクス ソリューションズ㈱, ㈱ドリームベース, ネットアド㈱, 長瀬産業㈱, ノーステック財団, HILO㈱, フィンランド・スエコ, ほくでん情報テクノロジー㈱, 北海道, NPO法人北海道宇宙科学技術創成センター, 北海道経済連合会, 北海道経合通信網㈱, 北海道中小企業家同友会, ミツミ電機㈱, メイビスデザイン㈱, ㈱宮田自動車商会, ㈱未来シェア, ㈱メカノクロス, Rapidus㈱, Letara㈱, ㈱ワールド山内

先端技術ゾーン 同時開催　食×ものづくりマッチング

FOOD FACTORY2024　～食×ロボット・機械の創造領域～

人手依存から脱却し、持続可能な生産体制を提案します！

道内ものづくり企業がロボット等の自慢の実機を持ち寄り、人手に過度に依存しない持続可能な生産体制構築に向けた生産現場の省力化・省人化を提案します。当日は食品加工で活用できるファイバーレーザを使ったデモも予定！

【有意義な情報収集と適切なマッチング】

ただ見るだけ、ではなく効果的な情報収集・マッチングをご希望の方は以下に事前連絡ください。

e-mail：dx-support@noastec.jp / Tel：011-792-6119
担当 ノーステック財団　ビジネスソリューション支援部 黒澤

出展企業

㈱アイエムパック, ㈱安西製作所, ㈱京和エンジニアリング, 桑原電工㈱, 新栄クリエイト㈱, 大平電気㈱, ㈱ニッコー, 北海道イシダ㈱, ㈱モリタ, ㈱ロボットシステムズ

ご来場お待ちしております！

主催：北海道
運営：（公財）北海道科学技術総合振興センター（ノーステック財団）
※令和6年度ものづくり産業におけるグリーン・デジタル推進事業（電源立地交付金）

大型 同時開催

スマートエネルギーフォーラム2024　CN革命!グリーン成長の実現～寒冷地北海道の挑戦～

（CN革命！　グリーン成長の実現）
2050年カーボンニュートラル（以下"CN"）を宣言して以降、産業構造・社会構造を変革し、「経済と環境の好循環」を作っていくグリーン成長の実現に向けた動きが一層加速しています。エネルギー消費の多い寒冷地においてCNに挑戦する皆様の一助となるよう、出展各社の寒冷地エネルギー利用ソリューションを一堂に展示。最新の技術・情報を収集できるまたとない機会です。

出展企業

イーズエンジニアリング㈱, 河村電器産業㈱, 木村工機㈱, ゼネラルヒートポンプ工業㈱, ㈱ゼロボード, ダイキンHVACソリューション北海道㈱, ㈱日本イトミック, パナソニック㈱, 富士電機㈱, ㈱前川製作所, 三菱電機グループ、ユアスタンド㈱
<ほくでんグループ>
北海道電力㈱, 北海道電力ネットワーク㈱, ㈱北海電工, 北電総合設計㈱

主催：スマートエネルギーフォーラム2024実行委員会
後援：（一財）省エネルギーセンター～北海道支部/北海道電気有効活用委員会

【お問合せ】スマートエネルギーフォーラム2024実行委員会事務局（北海道電力内）
TEL：011-251-8072

ビジネスEXPOは、学生の皆様の就職活動を応援しております。

学生見学
歓迎ブースがひと目でわかる会場図を公式HPにて公開

約1,200名の道内大学・高専・工業高校生をご招待!

企業の生の声が聞ける『学生向け企業説明会』を開催（道内大学・高等を対象）

次回開催案内

『第39回 北海道 技術・ビジネス交流会』

2025年11月6日（木）～7日（金）

＜会場：アクセスサッポロ＞

※お申込開始は、5月中旬（HP）からを予定しております。

＜お問合せ先＞
北海道 技術・ビジネス交流会 実行委員会　事務局
〒001-0021
札幌市北区北21条西12丁目ｺﾗﾎﾞほっかいどう （公財）北海道科学技術総合振興ｾﾝﾀｰ内
TEL：011-716-9150　　FAX：011-708-6529